

**深化** を意図した道徳の時間

## 主題名 「集団生活の向上」

内容項目 4-(4) 集団生活の向上

模擬授業 7/14

15:15～ 1A教室

第1学年 A組 27名 場所：1A教室 指導者 奈良 達也

1 **ねらい** 自分が属するさまざまな集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚して集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。

2 **資料名** むかで競走 (日本文教出版 あすを生きる①)

### 3 主題設定の理由《指導観》

#### (1) ねらいとする道徳的価値について《価値観》

人はその生活の舞台に応じて様々な集団に所属し、日々の生活を営んでいく。人が集団の一員としてよりよく生きていくためには自分の所属する集団の意義を理解し、それぞれがその一員としての役割と責任を自覚し、集団の目的を達成するために力を合わせていくことが大切である。

中学生の時期は、学校、学級、部活動などの集団の中で互いに深くかかわりあって相互理解を深め、集団の中で人間的な成長を遂げていく時期である。また、学校行事など、集団に所属していることの喜びを感じさせる機会も多い。しかし、人間的に未成熟であるがゆえに、個性の違いを受け入れられなかったり、自分の思いを優先させてしまったりということが多くみられるのもこの時期の特徴である。そこで、一人一人が自らの役割と責任を果たそうとする自覚を持ち、規律を守り、協力し合う態度を育てていくことが、今の集団生活を向上させるだけでなく、一人一人が将来に所属するであろう集団の中でよりよく生きていくことにつながっていくはずである。

#### (2) 生徒の実態《生徒観》

自身が所属する集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努めようとする態度を育てるため、以下のような指導を行ってきた。

##### ① 道徳の時間における指導

1 学期に内容項目 4-(4)「できること、できないこと、そして接し方」で、学級の一員である障害を持った A 子との接し方について考えることを通して、集団で生活していく上で大切なことは何か考える機会を持った。しかし、資料から学んだ価値を自分とのかかわりでとらえることができた生徒は少なかった。集団の中での役割や責任について自分にもあてはまることとしてとらえられるようにしていく必要がある。

##### ② 各教科等での指導

###### ア 教科指導

理科での実験や音楽の合唱、技術家庭科の実習などグループ活動を行う教科は少なくない。また、体育では球技の実践を通して目標を共にする仲間と活動を行う中で、チームとしてのまとまりや団結の必要性を指導してきた。しかし、どの教科においても一部のリーダー性を持つ生徒が引っ張っている状況が見られる。一人一人の生徒に集団での役割や責任について考えさせることは重要である。

###### イ 特別活動

学級活動の時間には話し合い活動を通して学級としての意見をまとめたり、係の活動に

ついて反省し今後の活動方針を決めたりするなど、一人一人が所属する集団での役割と責任を自覚するケースが非常に多い。学校行事においては、生徒会交流会や体育大会で学級単位での対抗戦を経験した。学級集団で団結し上級生を相手に勝利を目指して協力し合った経験は、本時の資料と重なる部分が多い。資料で学んだ価値を自分とのかかわりでとらえさせる際、有効に活用していきたい。

### ③ 日常での指導

清掃や給食当番など少人数での班活動は毎日の中に存在し、協力し合って生活している。自分の仕事が終わったら仲間の手伝いをするようにといった指導を繰り返しているが、積極的に手伝おうという生徒は少なく、その面において未成熟であると考えられる。集団生活において必要な役割や責任の自覚について考えさせ、道徳的実践意欲を高めていきたい。

本時の授業は「深化」を意図して行う。生徒たちは日々の学校生活や行事の中で常に学級や部活動といった集団で生活をしているため、集団の意義やその向上について考える機会を持っている。そこで、本時の学習を通して集団生活を向上させようという自覚を深め、道徳的実践意欲を高めていきたいと考えている。

### (3) 資料について《資料観》

本資料では、学級のリーダーである拓也が特訓に励む一宏の姿を目撃したことで心情を変化させ、学級の輪が広がっていく様子が描かれている。拓也の心情の変化に着目していくことで、集団における役割と責任の大切さを生徒に意識させ、集団生活の向上に努めようとする態度を育てることができるだろう。

## 4 深化を意図し、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めるための指導の工夫

### (1) 道徳的価値について理解するために

- ・ 主発問について考える時間を長く設定し、学級のリーダーである拓也の心情をとらえさせることで、リーダーの気持ちとまわりのメンバーの気持ちとを対比して考えられるようにし、価値理解につなげる。
- ・ 盛り上がらない練習に意欲をなくしかけた拓也の姿を想像させ、共感的理解を得ることで人間の弱さにも目を向けさせ、人間理解につなげる。
- ・ グループでの話し合い活動を通して、それまで気づかなかった仲間の意見を知り、他者理解につなげる。

### (2) 自分とのかかわりで道徳的価値をとらえるために

- ・ 資料における学級の様子や登場人物の心情の変化から学んだ道徳的価値をもとに、今までの自分について問うことで、自分の行為や経験に目を向けさせていく。
- ・ 導入で過去に行われた学級対抗の行事を想起させておくことで振り返りやすくするとともに、自身が所属する集団は学級だけではないことをヒントとして与えていく。

### (3) 道徳的価値にかかわる課題を培い人間としての生き方についての自覚を深めるために

- ・ 教師の説話を通して、今の学校生活だけに目を向けるのではなく、将来さまざまな集団に所属し、生活を送っていくことに意識を向ける。今は学級や部活動が自身の所属する集団の主たるものであり、それがすべてという生徒も少なくはないが、この中で集団の向上に貢献できる資質を高めていくことが、これからの人生において所属していくであろう集団の生活を向上させ、自分の人生をよりよいものにしていくことに気づかせていく。

## 5 本時の展開

過程	学習活動と発問『 』(◎は中心発問) ・予想される生徒の反応	指導上の留意点(○) 及び評価の観点(☆)
導入 (3分)	1 生徒会交流会での長縄跳びや体育大会での団体競技を振り返る	○本時の授業が集団生活の向上をねらいとしたものであることに気づけるようにする ○1学期に勉強した道徳の時間の内容にも一言ふれておく
展開 (42分)	2 資料「むかで競走」の音読を聞く	○資料を読む前に簡単に主要な3人の登場人物について紹介しておく
	3 登場人物の心の動きから集団生活がどうやって向上していくのか考えていく ＜価値理解＞＜人間理解＞＜他者理解＞ ◎(1)『日曜日、一宏たちが練習する姿を見た拓也は、なぜその場からしばらく動けなかったのか』 ・一宏に申し訳ない気持ちになったから ・リーダーは自分なのにやる気をなくしていたことへの怒り ・一宏の本当の気持ちを知り、自分もやらなくてはという気持ちになったから  (2)『拓也や一宏と一宏を支える仲間たちの頑張りや、この学級にどんな変化をもたらしたか』＜価値理解＞	○まず個人で考える時間をとり、ワークシートに記入する。その後3、4人のグループの隊形にする。各グループから意見をひとつ発表してもらうことを伝えておく ○各グループから出される意見を板書し、「後悔」「怒り」「やる気」などのグループに分類する  ○拓也や一宏と一宏を支える仲間たちの頑張りや、運動会での目標を優勝から完走へ変えたことを押さえる
	4 自分の生活を振り返る＜自己理解＞ (1)『今までの自分は、集団の一員として目標に向かって力を注いだ経験があるだろうか』 (2)『その結果どういう気持ちになっただろうか』	○学級だけでなく、その他の集団についても考えさせる ○経験を思い出せた生徒には、その時の気持ちを思い出させる ○経験を思い出せない生徒には、行事等の経験を想起させる ☆自身の性格や考え方、これまでの生活に照らし合わせて、自分なりの意見を持つことができているか
終末 (5分)	5 私たちの道徳 p166 の文章を読み、集団生活の向上には何が必要か、改めて考える  6 教師の説話を聞く	○最後に人生の中で、その時その時に所属する団体があることのありがたさを伝え、その集団の向上に努めることの大事さを伝える

## 6 板書計画

・ やってよかったという気持ち  
・ 苦しかったけど、頑張れたという満足感

やる気

リーダーは自分なのにやる気をなくしてここへの怒り

一宏の本当の気持ちを知り、自分もやらなくてはという気持ちになったから

目標の変化

後悔

怒り

日曜日、一宏たちが練習する姿を見た拓也はなぜその場からしばらく動けなくなっていたのか。

むかで競走

優勝したい  拓也

頑張りたいけど、運動が苦手  一宏

拓也とは仲良し  剛

今までの自分は、集団の一員として目標に向かって力を注いだ経験があるだろうか

- ・ 体育大会での応援合戦で大きな声を出した
- ・ 学級旗の作成を努力した
- ・ 部活動で新人大会に向けて毎日の練習を頑張った
- ・ 地域のお祭りのために練習を頑張った

その結果どういう気持ちになったか

## 7 ワークシート

道徳シート

### むかで競走

氏名

- 日曜日、一宏たちが練習する姿を見た拓也は、なぜその場から動けなくなってしまったのでしょうか？
- 今までの自分は、集団の一員として目標に向かって力を注いだ経験がありますか？ それはどんな経験ですか？

→ その結果、どういう気持ちになりましたか？

\*道徳の時間を振り返ってみよう。

	A 意欲的にできた	B できた	C あまりできなかった	D できなかった
1 資料について、興味を持って読みましたか	A	B	C	D
2 自分の考えを伝えることができましたか	A	B	C	D
3 友だちの考えを聴くことができましたか	A	B	C	D
4 授業の内容について深く考えることができましたか	A	B	C	D